414
A 507

上申書

不肖一郎齋沐拜書シ以テ

閣下ノ左右ニ白ス謹テ按スルニ夫レ財政ノ法ハ政體ノ須要ニシテ財政ハ則チ行政ノ基礎行政ハ則チ財政ノ原由實ニ行政財政ハ相両立シテ一日モ偏重スヘカラサル小魚ノ如シ而シテ本年四月中第三十三號乃至第三十六號公達アラセラルヽヤ一ノ間然スルナシト雖竊カニ回慮スルニ大概行為ノ弊ハ其名治平無事ト為シテ而シテ其実不測ノ變アリ然ルニ坐カラ其變ヲ視察シテ之レカ所置ヲ為サヽルトキハ後日恐クハ救フヘカラサルニ至テン若シ奮起シテ強テ之ヲ所置スルトキハ天下治平ノ安ニ狃ルヽモノ皆ナ吾ヲ信セサルナリ之レ世俗ノ通情ナリ然リト雖財政困難ノ秋ニ膺リ英敏閣下アリ敢テ一言ヲ呈セスンハアラス則チ會計法之レナリ其法

大正十一年四月
大隈侯爵家寄贈

3327

ノ豫算ニ起リ決算ニ結了スルハ業ニ既ニ喋々ノ鄙言ヲ待タサル
所ナレ氏尚ホ一毋ヲ進メテ熟慮スルニ財政ノ要務ハ豫算ニ
在リ豫算ノ要務ハ實ニ其人アリテ其豫算ノ起ルモノニシテ豫算
ノ當否ヲ見ルハ決算ニ在リ而シテ其豫算ハ無形ニシテ其決
算ハ有形ニ結了スルモノナレハ豫決其宜ヲ得ルハ即チ財政上今日
ノ急務ナリ其急務ヲ處置スルノ要路ナルハ即チ會計検査院
之レナリ尤検査院ハ克ク窺ヒ知ル所ニアラズ独リ各府縣會計主務
官吏ノ如キハ昔日ノ各府縣出納上ヲ以テ之レヲ後日ニ量ルニ或ハ曲
ケテ其法令ニ拠ラシメ或ハ屈シテ其不理ニ従フノ弊害ナシト云ヘ
カラズ其弊害多クハ地方税ニ肇マリ國庫出納ニ波及セリ国
庫ノ弊ハ朝廷財政ノ困難ニ及ヒ地方税ノ害ハ人民膏血ノ不幸
ヲ来タセルナリ素ヨリ如斯ハ法令アリ條理アリ必有ヘカラサル者

ナレ氏必有ラサルヲ以テ証スル克ハサル者ナリ之レ此ノ弊害ヲ治
平無事ノ間ニ救済スルハ財政上今日ノ一大急務ニシテ今日ニ
於テ犯憂セスンハアルヘカラサル以所ナリ而シテ一己竊ニ考フルニ
之レヲ今日ニ救済スルノ法ハ各廳長官ト會計主務官吏トノ権限
之レナリ今ヤ長官ト主務官吏トノ権限ヲ見ルニ太政官ヨリ之ヲ命
スルモ其長官ノ上請ニ依ルモノナレハ十中八九ハ舊来出納上ニ従事
スル吏員ニ止マリ故ニ昔日ノ習慣ニ由リ遂イニ私情ニ束縛セラレ彼
ノ弊害ヲ矯正スル能ハサルニ至ラン是ニ至リテ感ラクハ其法令ノ善良
ナルモ其行為ノ実施スルナキヲ閣下幸ヒニ一己カ衷情ヲ取リ採ル
所アラハ會計主務官吏ハ各廳長官ノ上請ニ依ラズ太政官ニ於テ
直チニ之レヲ命シ會計検査院ヨリ各府縣ニ特ニ主任者一員ツヽ
在勤セシメ而シテ其他ハ舊来各廳ニ於テ出納ニ従事スルモノニ分

仕ロヒムルトキハ前顕未發ノ弊害ヲ今日ニ救済スルニ至ルヘシ然ルサハ独リ此ノ弊害ヲ今日ニ救済スルノミナラス豫決策ノ順序ニ随テ其宜ヲ得ルニ至ルノ基礎タルヘシ之レヲ救フハ則チ有形ノ一端ヲ救済スルノ法ナレ𪜈此有形ノ決策ハ無形ノ體ヲ備フルノ器無形ノ豫策ハ有形ヲ仕役スルノ精心ナリ焉ソ今日ニ於テ輕忽ニ附スル者ナランヤ實ニ今日ノ一大急務ト云ハサルヲ得ス格言ニ云明者ハ遠ク未萌ニ見テ智者ハ危ヲ無形ニ避ク禍ハ固ヨリ多ク隱微ニ藏シテ而シテ人ノ忽ニスル所ノ者ニ發スル也伏テ乞閣下願クハ賢察ヲ垂玉ハヽ鞠躬盡力シテ再ヒ微衷ヲ具陳スルアラント欲ス不肖一身螻首々以テ聞ス

明治十四年七月十九日

秋田縣士族

小貫一郎

東京府下南葛飾郡小梅村百九十番地寄留

参議大隈重信殿

玉椅下